



上宝かわら版

「上宝だから」

2020年 4月版



飛騨上宝自然人倶楽部

HIDAKAMITAKARA SHIZENJINCLUB

飛騨上宝のココが凄い！！

コロナと上宝

下界で吹き荒れるコロナ旋風！

正体不明の疫病神。「正しく恐れなさい」と識者は言う。上宝は日本のガンダーラ！と私は言い、都会人に来てご覧と言い続けています。

私は今の時代の都会人(特に東京の人)は、絶対にいざというときの避難場所を作るべきだと思っています。東日本大震災を思い出してください。未だに復興していません。南海トラフ、直下型地震が起きたらどうしますか？

コロナの教訓として密集地は危険なのです。いざという時にパニックになります。都会の皆さん、今から避難所を作って下さい。それが本当のふるさとにできるならならベスト。しかし、それ以外に第2のふるさとを作って、そこを避難地にできたらいいですね。

そのふるさとが自然豊かで文化が根づいて、人が良い地であったら最高だと思います

せんか？その地が日本のガンダーラ、上宝なのです。私が上宝を第2のふるさとに選んだゆえんです。

上宝の東部は奥飛騨温泉郷であり、温泉の原風景と露天風呂で心身が癒やされます。西部は日本一のお米の生産地で、畑を耕したり蓮根を作ったり農夫になれます。

ところで皆さん、コロナの体験でドイツの医療体制が話題になっていますね。子供の時からかかり付け医者を選べると言います。ホームドクターです。

私は上宝もそのような医療施設としてのクリニックとホームドクターづくりをしたいと思っています。そして医療以外でホームロイヤー(よろず相談)を作るべきだと思います。できたら私もその役割を担いたいと常日頃思っているのです。

さあ、皆さん、何でも相談に乗ります。電話でもFAXでも大丈夫です。

まずは連絡してみてください。

金住

TEL 090-3409-0113 FAX 0578-86-2990

コロナのピンチを奥飛騨温泉郷のチャンスに！！

コロナは上宝には無縁だと思っていたのに、実は千葉のお客様が奥飛騨の温泉宿に1泊して帰宅し、その後コロナ陽性になったという事件がありました。

一時は大騒ぎになりましたが、その施設のオーナーの機敏な対応によって大事には至らず、また、変な風評被害が奥飛騨温泉郷に広がることなく、コロナ一般の温泉地被害にとどまりました。

いずれにしても、奥飛騨温泉郷にとって、コロナ騒動で団体客はもちろん、旅行自粛から来るキャンセルムードに巻き込まれたのは、全国の例にもれません。ともかく、コロナ後のV字回復にどこよりも先駆けなければなりません。

そこで、私から奥飛騨温泉郷で中心的に活躍されている3人のオーナーに、当面どうするか？将来にどう備えるか？聞いてみました。3人答えが面白かったです。3人は共に損害は1億円規模であると答えた上で、

Aさん：従業員を守らなければならないが一部活動を停止する。

Bさん：流れを見守り、腹をくくること、いわばケセラセラかな。

Cさん：うちは6月から予約を回復させる！

とのことでした。さすが皆さん大物です。

私から見ると、奥飛騨温泉郷は全国的にも秘境にある静かな温泉街ですから、自家用車による家族旅行・カップル旅行の絶好地として宣伝すべきだと思います。その宣伝は観光協会の腕の見せ所と思うのですが、いかがでしょうか？

ともかく、これからの温泉郷の立て直しは、温泉郷の人々の協力が必要だと思います。

そのような時期に、4月1日から上宝支所長として3月まで高山市役所本庁の商工観光課長をされていた川原幸彦さんが就任されました。

合同会社奥飛騨郷では、2019年5月に設立以来、何度か商工観光課とは面談し、平湯大滝公園の再生を始め、奥飛騨温泉郷の活性化のために要望を重ねてきました。

商工観光課では、2019年中には基本構想を発表するとの方針の下、準備されていたようですが、何しろ奥飛騨温泉郷は国や県の管轄にもまたがっており、その他関係する団体との調整のため、すぐには方針を決められない事情があったようでした。

そこで合同会社では2019年12月に國島市長と高山市議会の橋本議長とも面談し、再度、方針案の早期提出とそれに基づく実践を願い出しました。お二人は快く実現のための努力を約束して下さいました。

ところが今年に入ってこのコロナ騒動です。新平湯温泉の大旅館本陣の破産申立が新聞でも発表されました。これは奥飛騨温泉後全体にとって一大事であり、明日は我が身の大事件です。

川原支所長は4月2日の私との会見で、「こんな時こそコロナに対処すると同時に、コロナ後の経済再建を考えなくてはならない」「必要な誘客活動は必要である」「そのためにも、平湯大滝公園の車の乗り入れは実現したい」と言ってくれたのです。

そして奥飛騨温泉郷活性化計画の骨子を書面にして渡してくれました。

新支所長の姿勢は本当に頼もしく思いました。皆さん、一緒に頑張りましょう！！



渡り鳥が高山上宝にやって来る

これからの時代は多様性が尊ばれます。

いろいろな人が、いろいろな地で、いろいろな楽しみ方をしたい... という時代です。つまり、1カ所に縛られて、決められた行動しかできなくて、自分の中にある多様な興味や関心を実現することができないのは、つまらない時代とっていいでしょう。



旅行をする。世界中のいろいろなところに行ってみたい...

そんな願望を持っている人はとても沢山存在します。

そんな要求が渦巻く今日、それを実現しようという会社があります。



『全国渡り鳥生活倶楽部株式会社』です。

この会社は、今、日本の宮城・長野・湘南・京都・兵庫・山口・福岡・大分・熊本・鹿児島に施設を設けて、メンバーの人々にこれらを自由に転々賃借できるシステムを作っているのです。つまり、メンバーになると、これらの施設を自由に使えるのです。



その会社の社長と副社長が、先日我が社の江名子と上宝の施設を訪れ、すっかり気に入って下さり、我が社と契約することになりました。

今後、江名子や上宝に全国の渡り鳥たちが遊びに訪れることとなります。

高山や上宝の生活を通して、沢山の渡り鳥たちが人生を謳歌することになります。

ありきたりの観光やパッケージツアーのような型にはまった旅行ではなく、人生そのものを楽しもうという滞在型の旅行です。



↑ 広報の方が視察に (*^_^*)



我が社もホストとして、高山と上宝そして飛騨人達の素晴らしさを精一杯渡り鳥たちに知っていただくお手伝いをします。

そして、上宝をもっと知ってもらうために、皆さんのお力をお借りしたいと思っています。

例えば郷土料理をつくったり... 例えば郷土民芸品を作ったり... 例えば炭焼き小屋で炭を焼いたり...

囲炉裏を囲んでお酒を飲んだり... 昔の上宝の話を聞いたり... 等々、数えたらきりがありません。皆さん、ぜひ是非、私達にお力添え下さい。

そして、一緒に渡り鳥生活倶楽部と楽しみましょう～～～



↑ 江名子の囲炉裏は八角形



さくら(8ヶ月♀) 秋田犬

ワン・ニャン
こんなに
大きくなりました

◆猫用のキャリーに入れて病院へ行っていた頃が懐かしいほど、さくらは大きくなりました。皆さんが脚が太いから大きくなるねって仰るとおり、よく食べて育っています。

今の体重は20 kg弱。おませさんで、6ヶ月でヒート(生理)になり、獣医さんを驚かせました。そして4月4日に避妊手術です。もう立派な大人ですかね〜。外で飼うか家の中か迷いましたが、結局は家の中で飼っていますが、猫たちとも仲良しです。

散歩では、さすがに引っ張られてしまうことも多くなりました。こちらも体力勝負です！さくらは大人しく無駄吠えもしません。そして何より人が大好きで、ワンちゃん達を連れてお母さん達に会うと嬉しくて飛びつきます(^_^;)。身体が大きいから、ちょっと危ないかも。さくらを見かけたら、遊んで下さい。ハイタッチ、しますよ(*^_^*)



保護猫のチコ&もも(10ヶ月♀) 毛色が茶がもも 黒っぽい方がチコ



ももはさくらが大好き



チコは少し臆病かも

◆保護猫を譲って頂く時に約束した「避妊手術を受けること」「家の中で飼うこと」を守って、1月に2匹とも避妊手術を受けました。左端の写真は術後の様子。術後はますます食欲旺盛！！底なしのような食欲です。また同居のサクラとも仲良し。ももは、自分からさくらのケージに飛び降りて遊んでもらっています。私達が毎日癒やされています(*^_^*)

毎週水曜日11:30 ~ Hit's FMにて弊社代表金住の
「白ひげ弁護士の徒然日記」を放送中！月曜日には再放送